

コブシの木が町指定天然記念物に指定されました！



▲大空に向けそびえ立つコブシ

根回り 3.35m
樹高 約 15m
枝張り 約 16.5m

横内集落、池田彰さん宅のコブシの木が大崎町指定天然記念物に指定されました。(3月26日指定)

このコブシは平均的なコブシよりも大きく、3月中旬から下旬の開花時期になるとたくさんの白い花を咲かせ、一足先に春の訪れを教えてくれます。その姿に、県道を車で走らせている人も、思わず車をとめて眺めるほどです。

古来よりコブシの開花が農事歳時記の1つとして人間社会に深く関わっていたと言われていました。このようなことから民俗学的にコブシの木を町指定文化財として保存していくことになりました。



▲大崎町指定天然記念物に指定されました

まちの風物詩 ～花菖蒲～



▲満開の花菖蒲



▲あじさい

5月22日(金)、ふれあいの里公園の日本庭園を訪れると、初夏の風物詩『花菖蒲』が満開になっていました。

ふれあいの里公園内にある日本庭園には、560㎡、約2,000株の花菖蒲が植えられていて、5月中旬ごろから約1ヶ月間、白や桃、紫などの花を咲かせ、訪れた人々の目を楽しませます。

また、あじさいも咲きほこり、日本庭園ならではの雰囲気醸し出していました。